

## 正誤表・更新情報

本書中に訂正・更新箇所等がございました。お手数をお掛けしますが、下記ご参照頂けますようお願い申し上げます（2023年5月12日）

## ■第1版 第1刷（2022年11月10日発行）の修正・更新箇所

| 頁   | 場所                    | 修正前  | 修正後   | 補足                       | 掲載       |
|-----|-----------------------|--|---|--------------------------|----------|
| 第2章 |                       |  |   |                          |          |
| 35  | Fig. 12               |  |   | ※1参照                     | 23/05/12 |
| 46  | 上から6行目                | インシデント(医療事故)・アクシデント<br>(ヒヤリ・ハット)               | インシデント(ヒヤリ・ハット)・アクシデント<br>(医療事故)  |                          | 23/05/12 |
| 第5章 |                       |  |   |                          |          |
| 108 | 下から10行目               | …腹腔内は腹部食道(Ae)となります <sup>3)</sup> 。             | …腹部食道(Ae)となります <sup>3)</sup> ※  | 腹部食道(Ae)の注釈を追加。※2参照      | 23/05/12 |
| 142 | Table 1, MM/SM1<br>の行 | ・明瞭な陥凹<br>・軽度の陥凹内は顆粒, 粗大顆粒<br>・軽度の反応性隆起を伴うことあり | ・明瞭な陥凹<br>・陥凹内は顆粒, 粗大顆粒状隆起<br>・軽度の辺縁隆起を伴うことあり   |                          | 23/05/12 |
| 161 | 上から7行目                | びらんなどの炎症性変化                                    | 炎症性変化   | 赤字削除                     | 23/05/12 |
| 第6章 |                       |  |   |                          |          |
| 168 | Fig. 4                | 下部食道柵状血管網の構造図                                  | 下部食道柵状血管の構造図  | 図タイトルの赤字削除。図の修正については※3参照 | 23/05/12 |
| 172 | 本文下から6行目              | …という話もでています。                                   | …という話もでています※<br><br>※食道癌取扱い規約第12版でLSBEの定義は、「一部でも3 cm 以上のパレット粘膜を認める場合をLSBE とする」と記載され、国際的な定義と一致するように改訂された。<br>引用:「食道癌取扱い規約第12版」(日本食道学会/編), 金原出版, 2022 | ページ下部に注釈文(赤字)を追加         | 23/05/12 |

※1 青色で囲った部分を追加

光源装置 (送気システム) → 内視鏡 → 送水タンク → 内視鏡

- A) 送気 off
- B) 接続不良
- C) 密閉不良
- D) 先端ノズル (送気・送水ノズル) のつまり

A) 送気 off: 送気スイッチの状態を確認。

B) 接続不良: 奥まで内視鏡が入っていない、正しく接続済の状態。

C) 密閉不良: 送水タンク、送気・送水ボタンの接続部位のゆるみ、パッキンの劣化、ボタン先端の劣化、送水タンクのヒビ、スカート部の劣化。

D) 送気・送水ノズルのつまり: 対物レンズ、ライトガイド、送気・送水ノズル (鉗子口)、鉗子口チャンネル。このノズルからレンズに向かって送気・送水が行われる。

Fig. 12 送気・送水ができない原因は?

※2 赤色で囲った部分を追加

鎖骨、胸骨、気管気管支、横隔膜、食道胃接合部、胃

頸部食道 (Ce)  
胸部上部食道 (Ut)  
胸部中部食道 (Mt)  
胸部下部食道 (Lt)  
腹部食道 (Ae\*)

(Te)

※食道癌取り扱い規約第12版では、食道の区分としてAeをなくし、食道胃接合部領域 (Jz) を新たに規定した。食道胃接合部領域は、食道胃接合部の上下2 cmの部位であり、西の定義と一致する (p 173).

Fig. 9 食道の区分のシエーマ

※3 赤色で囲った部分を追加

内視鏡で視認できる 槽状血管 (2~3cm)

EGJ →

重層扁平上皮または単層円柱上皮

粘膜炎有層、粘膜炎下層、粘膜炎板